

輝かしい節目を迎え

市制施行60周年・水道布設90周年記念式典  
11月16日(日)

利根沼田文化会館で多くの来賓や招待者など約1,000人を迎え、記念式典が盛大に開催されました。第1部では、歴代市長をはじめ、各分野で市政発展に貢献された皆さんへ感謝状などが贈られたほか、小中学生22人のナレーションにより写真映像で過去60年を振り返り、本市発展を願う万歳三唱により幕を閉じました。幕間の沼田東小学校マーチングバンド演奏に続き、第2部では、オカリナ奏者宗次郎さんによるコンサートが開かれ、クレッシェンド、沼田ユネスコ少年少女合唱団と共演。美しい音色と歌声で式典に花を添えました。



ぬまたプラオトやんぽ



子ども議員、果敢に発言

第13回子ども議会  
11月8日(土)

子どもたちに市政への関心を高めてもらうため、毎年開催されているこの事業。今年も各小中学校の代表として28人の子ども議員が参加しました。本番ながら、市議会本会議の一般質問形式で議事が進行する中、子どもならではの視点で堂々と質問を述べました。

市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

新企画！須賀神社で城主の嫁取り

戦国ストリートin沼田2014  
11月9日(日)

武者のいで立ちに身を包む甲冑愛好家をはじめ、歴史ファンや観光客、市民など多くの方が会場を訪れました。真田ゆかりの旨いものが露店に並んだほか、初イベント「城主の嫁取り」では、真田信之、小松姫に扮する男女が武者たちに見守られる中で挙式を上げました。



YOROZU  
よろずとーく 92  
TALK

沼田市農産物ブランド化  
及び6次産業化推進協議会会長  
農業生産法人奥利根自然菜園株式会社  
代表取締役

茂木 清七さん  
(下川田町)  
Seishichi Mogi

「責任重大です。沼田のブランド化と6次産業化は、簡単なものではないです。本気でやる人間を入れこの会を進めたいと最初のあいさつでお願いしました」今年7月に設立した沼田市農産物ブランド化及び6次産業化推進協議会の会長に就任した茂木さん。全国的にも数少ない国の6次産業化認定を受け、現在自家菜園で収穫した茶豆と大豆に米・麦麴を合わせ、二冬二夏じっくり仕込む「清七味噌」の生産、加工、販売を手掛けている。「自分もそうですが、農家は販売が一番苦手です。おいしい物は分かりますが、どうやって消費者へ伝えるか。高齢化による



自然菜園で大根を収穫する茂木さん

後継者問題もあり、今の農家は農業でしっかり食べているだけの所得が必要で、その糸口が6次産業化だと思えますね」認定を受けて学ぶ事が多くなつたと語る茂木さん。さまざまな課題を模索しながら、9月の協議会でブランド認定制度策定とマーク・名称作成、ブランド発掘の各専門部会を設置した。「まずは安心・安全と沼田らしさを第一に考えています。認定基準もある程度の道筋が整い、ブランドマークの公募も11月から始まりました。私はブランド化、6次産業化が沼田を活性化させ、企業誘致や雇用創出、人口の流出を食い止める一つの施策であると考えます。皆さんと一緒に意見交換を繰り返して、来年には沼田の農産物ブランド認定第1号を世に送りたいですね

来年には沼田の農産物ブランド認定第1号を世に送りたいですね



われら いっしょいっしょ サークル 251

沼田ジュニアリーダーズクラブ  
(会員数19人)



事務局 市青少年育成連絡協議会  
(連絡先 ☎0278-23-2111内線3332)

自主的な活動や奉仕の精神を身に付け、知識や技能の向上と市子ども会の活性化を図るため平成8年に発足しました。各育成会行事への協力、ネイチャーキッズでの指導、研修会への参加のほか、月に1度例会を開催しています。他校の生徒や子どもたちとの触れ合いを通じ、視野が広がり積極的になれるところが魅力です。市内在住・在学の高校生で奉仕活動に興味がある人や自分を変えたい人、充実した高校生活を送りたい人は、ぜひご連絡ください。